

ご存知ですか？

喫煙が引き起こす病…

COPD

「COPD」は「たばこ病」ともいわれるように、主に喫煙が原因で起こる「肺の生活習慣病」です。

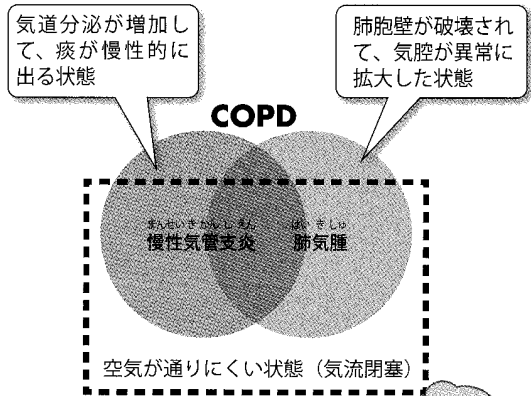
COPDとは

COPDという言葉は、英語のChronic Obstructive Pulmonary Disease（慢性閉塞性肺疾患）の頭文字をとったもので、主に長期間にわたる喫煙が原因で肺に炎症が起こり、肺の中の空気の流れが悪くなる病気です。COPDという言葉はあまり耳慣れない言葉かもしれませんが、今まで慢性気管支炎、肺気腫と言われていた2つの病気を、WHO（世界保健機関）のガイドラインに沿ってまとめて呼ぶようになった名称です（図1）。

症状としては、息切れ・慢性の咳・痰などで、風邪をひくことをきっかけに増悪し、進行していきます（図2）。

また、この疾患は全身の病気とも言われてお

図1 COPDの中味



「COPD普及啓発講習会」より



図2 COPDの症状

- 1日に何度も咳が出る。
- 息切れしやすい。
- 呼吸をするとゼイゼイと音がする。
- たばこを長期間吸っていた。
- 黄色や粘り気のある痰がでる。
- 40歳以上である。

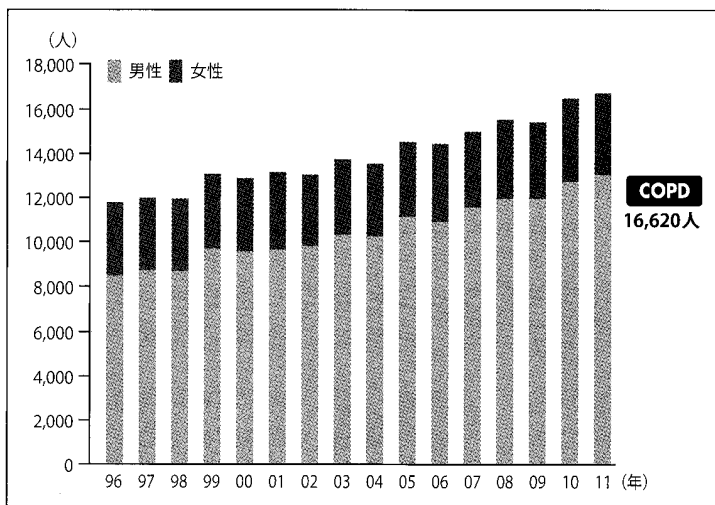
たばこを吸っていて、いくつかの症状が思い当たる方はCOPDの可能性ががあります。

COPDの現状

近年、COPDは患者数、死亡者数ともに世界中で急増しています。WHOの調査によると、2002年にはCOPDは世界の死亡原因の第5位でしたが、2030年には第3位になると予想されています。日本においても増加傾向が同様に見られます（図3）。

COPDは長期間の喫煙により発症するもので、患者数は40歳代から徐々に増え、60歳代、70歳代で急激に増加しています。死亡者数も徐々に増加しており、2009年には男性の死

図3 日本におけるCOPDによる死亡者数の推移



「厚生労働省:2011年人口動態統計」より